

## 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 取組状況（平成 28 年度・29 年度）について

### 基本目標 1 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

#### 【数値目標】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度 <sup>1</sup>
出生数 (各年の1月1日現在)	人	2,476	2,401	2,379	2,476	△
婚姻件数 (各年の1月1日現在)	件	1,527	1,588	1,506	1,527	○

(参考) 上記数値は、各年のとも、前年実績(例：H26はH25.1.1～H25.12.31の合計)

#### 【現状分析と今後の方向性】

- 出生数は、維持を目標としているが、28年は前年比で22人の減少と、2年続けての減少となっている。出生数の減少は、出産する年齢の女性人口の減少による影響が大きいものと考えられる。
- 婚姻件数は、28年は前年比で82件の減少となるが、26年からの推移をみると、横這い傾向となっている。
- 今後は、いきいき岩手結婚サポートセンターの認知度の更なる向上に努め、利用促進を図るとともに、企業等の協力を得ながら、若い世代のライフプランニングを支援することや、結婚支援ボランティアの活動環境の整備を進めることなどにより、婚姻件数の増加を図る。
- 4月以降年度途中に入所を希望する児童が入所できないことによる待機児童がいることから、一層の待機児童解消への取組を進めるほか、安定した保育サービスを提供するため、引き続き、保育定員の拡大に取り組むとともに、保育士不足への対応や保育士の処遇改善に取り組む。
- 子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業補助金」を拡充することや、本市における子どもの貧困対策を計画的・総合的に推進するための計画等を策定することなどを通じて、社会全体で子育てを支援する機運の醸成を図る。
- ワーク・ライフ・バランス推進事業については、岩手県が進める働き方改革関連事業と連携を図ることで、市内の民間企業の主体的な取組が進むよう、人材養成講座の実施などについて引き続き取り組む。

<sup>1</sup> 達成度：目標値に達している⇒○，順調に推移…○，停滞又は後退…△

【岩手県保健福祉年報における出生数の推移】（参考）

	H24			H25			H26		
	女性人口	構成比	出生数	女性人口	構成比	出生数	女性人口	構成比	出生数
盛岡市の人口（推計人口）	299,568			300,102			300,592		
うち女性人口（総数）	157,574			157,926			158,213		
（15歳～49歳）	66,282	42.1	2,443	65,800	41.7	2,477	65,220	41.2	2,476
（15歳～19歳）	7,752	11.7	26	7,353	11.2	27	7,177	11.0	30
（20歳～24歳）	8,779	13.2	274	8,860	13.5	232	8,670	13.3	230
（25歳～29歳）	8,875	13.4	752	8,697	13.2	813	8,634	13.2	703
（30歳～34歳）	9,565	14.4	836	9,434	14.3	817	9,333	14.3	890
（35歳～39歳）	11,016	16.6	481	10,944	16.6	504	10,693	16.4	531
（40歳～44歳）	10,547	15.9	74	10,714	16.3	84	10,945	16.8	91
（45歳～49歳）	9,748	14.7	0	9,798	14.9	0	9,768	15.0	1

	H27			H28			H28-H27（増減数）		H28/H27（増減率）	
	女性人口	構成比	出生数	女性人口	構成比	出生数	女性人口	出生数	女性人口	出生数
盛岡市の人口（推計人口）	300,116			297,631			▲ 2,485		▲ 0.01	
うち女性人口（総数）	157,937			156,542			▲ 1,395		▲ 0.01	
（15歳～49歳）	64,532	40.9	2,401	62,842	39.8	2,379	▲ 1,690	▲ 22	▲ 0.03	▲ 0.01
（15歳～19歳）	7,004	10.9	23	7,410	11.5	20	406	▲ 3	0.06	▲ 0.13
（20歳～24歳）	8,596	13.3	226	7,814	12.1	215	▲ 782	▲ 11	▲ 0.09	▲ 0.05
（25歳～29歳）	8,382	13.0	693	7,728	12.0	688	▲ 654	▲ 5	▲ 0.08	▲ 0.01
（30歳～34歳）	9,175	14.2	842	8,804	13.6	831	▲ 371	▲ 11	▲ 0.04	▲ 0.01
（35歳～39歳）	10,340	16.0	510	9,946	15.4	515	▲ 394	5	▲ 0.04	0.01
（40歳～44歳）	11,029	17.1	103	11,077	17.2	108	48	5	0.00	0.05
（45歳～49歳）	10,006	15.5	4	10,063	15.6	2	57	▲ 2	0.01	▲ 0.50

過去4年の状況をみると、総人口及び女性人口（総数）は横ばいの推移となっているが、出生数が生じる15歳から49歳までの女性人口は、24年の66,282人から28年には62,842人と3,440人減少している。

合計特殊出生率(※)は、26年が1.35、27年が1.37、28年が1.42と上昇傾向にあることから、出生数の減少は、子どもを出産する年齢の女性人口の減少の影響が大きいと考えられる。

(※)合計特殊出生率は、当該年を含めた過去5年間の平均値。

合計特殊出生率 = {母の年齢別出生数 / 年齢別女子人口}

15歳から49歳までの合計

## 戦略1 結婚の希望に応える支援

### 【KPI（重要業績評価指標）※1】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
いきいき岩手結婚サポートセンター※2の成婚実績数 (県内実績)	組	—	0	10	50	○

(参考) 同センター登録者数 996人(平成29年3月末現在)  
 盛岡市分 男性167人, 女性177人 合計344人  
 同センター成婚実績数 10組(平成29年3月末現在)

### 【現状分析と今後の方向性】

- いきいき岩手結婚サポートセンター登録者数は、平成29年3月末現在、県内実績で996人、うち盛岡市分が344人となっており、岩手県の目標値である登録者数850人を上回っている。また、成婚実績数(KPI)は県内実績10組となっていることから、徐々に取組の成果が上がっている。今後、サポートセンターが1箇所増設され、新たに出張サービスが開始される予定となっている。
- 28年度は、地域少子化対策重点推進交付金を活用し、高校生や大学生等を対象とした「ライフデザイン支援事業」や、結婚への相談・助言を行う人材を養成する「結婚支援人材養成事業」に取り組んだほか、結婚新生活支援事業費補助金を活用し、結婚に伴い住居を購入したり賃借等をした一定所得以下の世帯を対象に住居費等を補助する「結婚新生活支援事業」に取り組んだ。
- 今後は、いきいき岩手結婚サポートセンターの認知度の更なる向上に努め利用促進を図るとともに、企業等の協力を得ながら、若い世代のライフプランニングを支援することや、結婚支援ボランティアの活動環境の整備を進めることなどにより、婚姻件数の増加を図る。

### 【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
1-1-1 いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画	⇒	→	→	→
1-1-2 ライフデザイン支援事業		→		
1-1-3 結婚支援人材養成事業		→		

⇒ 地方創生の交付金を活用

→市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

- ※1 重要業績評価指標（K P I）……施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のこと。key performance indicator の略
- ※2 いきいき岩手結婚サポートセンター……結婚を希望する方々を支援するため、岩手県や県内市町村などが連携して平成 27 年 10 月 1 日に設置。出会いの機会を提供することで、パートナー探しを支援する。通称『i-サポ』

**戦略2** 安心して子どもを産み育てられる環境整備

**【K P I】**

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
保育所待機児童数（H26はH27年度当初数値,H27はH28年度当初数値）	人	9 (H27.4.1)	0 (H28.4.1)	0 (H29.4.1)	0 (H32.4.1)	◎
市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	15.5	13.3	15.2	40.0	△
市民アンケートで「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	19.3	22.0	24.0	14.5	△
子育て支援サービス利用者数	人	69,276	76,691	80,233	74,000	◎

**【現状分析と今後の方向性】**

- 保育所待機児童数（K P I）は、H28（平成 29 年 4 月 1 日現在）は「0」であり、目標を達成している。一方で、4 月以降年度途中に産休や育休明けなどで入所を希望する児童が入所できないことによる待機児童がいることから（平成 28 年 10 月 1 日現在で 175 人）、一層の待機児童解消への取組が必要となっている。今後についても、保育を希望するニーズは増加傾向にあるため、「子ども・子育て支援事業計画」の見直しを行いながら、安定した保育サービスを提供するため、引き続き、保育定員の拡大に取り組むとともに、保育士不足への対応や保育士の処遇改善のほか、企業主導型保育事業の推進などに取り組む。
- 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合（K P I）及び「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合（K P I）は、いずれも数値の改善がみられない。子育て世帯においては、経済的な負担を感じている世帯が多くあることや育児不安・悩みを解消できないことなどがその要因と考えられ、経済的負担の軽減策をはじめとして子どもの健康や育児全般、教育など包括的な支援が必要であることから、医療費給付事業の充実を進めるほか、地方創生加速化交付金を活用して新設したもりおか子育て応援プラザ、平成 28 年 4 月に設置した子育て世代包括支援センター、市内 8 箇所の地

域子育て支援センター，放課後児童クラブ等の充実や利用促進を図りながら，支援を必要とする人に確実にサービスが届くようきめ細やかな相談対応や情報提供と環境整備に努める。

- 子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業補助金」を拡充することや，本市における子どもの貧困対策を計画的・総合的に推進するための計画を策定することなどを通じて，社会全体で子育てを支援する機運の醸成を図る。

### 【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
1-2-1 待機児童解消強化事業	→	→ 拡充	→	→
1-2-2 少子化対策（子育て）支援事業【★】	⇒	→ 変更		
1-2-3 私立児童福祉施設等運営事業 （子ども未来課）（子育てあんしん課）	→	→ 拡充	→	→
1-2-4 保育所管理運営事業	→	→	→	→
1-2-5 特別保育事業	→	→	→	→
1-2-6 地域児童クラブ運営事業	→	→ 拡充	→	→
1-2-7 放課後児童健全育成事業実施施設整備補助事業【★】	→	→	→	→
1-2-8 児童館管理運営事業	→	→ 拡充	→	→
1-2-9 医療給付事業（妊産婦，乳幼児，小学生）	→	→ 拡充	→	→
1-2-10 母子保健事業	→	→	→	→
1-2-11 乳幼児健康診査事業	→	→	→	→
1-2-12 小児救急輪番制病院事業	→	→	→	→
1-2-13 地域における子育てサロン支援事業	→	→	→	→
1-2-14 地域子育て支援センター事業	→	→	→	→
1-2-15 つどいの広場管理運営事業	→	→	→	→
1-2-16 赤ちゃんの駅設置事業	→	→	→	→
1-2-17 乳児家庭全戸訪問等事業【★】	→	→ 拡充	→	→

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
1-2-18 公民館による子育て関連講座（各公民館）		→ 拡充	→ 拡充	→
1-2-19 空き家バンク制度の普及	→	→	→	→
1-2-20 子どもに安心して教育を受けさせるための取組	→	→	→	→
1-2-21 子育て世代包括支援センター事業	→	→ 変更	→	→
1-2-22 第3子以降の保育所・幼稚園の保育料無償化事業				→
1-2-23 子どもの生活実態調査事業		→		
1-2-24 子育て支援員研修事業	→	→	→	→
1-2-25 地域における児童サポート応援事業		→ 変更	→	→
【新規】子育て応援プラザ事業		⇒	→	→
【新規】子ども未来基金事業（子ども・子育て支援事業補助金）		→	→	→
【追加】認定こども園等運営費給付事業		→	→	→
【新規】保育士確保対策事業			→	→
【新規】産後ケアに係るニーズ調査事業		→	→	

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

⇒ 地方創生の交付金を活用

→市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

### 戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進

#### 【KPI】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数(累計)	社	—	35	78	120	○

#### 【現状分析と今後の方向性】

- ワーク・ライフ・バランスの推進については、地方創生加速化交付金を活用し、岩手県と連携しながら、企業の人事担当者や社会保険労務士等を対象とした研修会の実施や、研修受講者が各自で取組を進められるよう、情報提供の場やネットワーク形成の支援に努めている。今後についても、ワーク・ライフ・バランスの重要性について、多くの企業経営者や子育て家庭、子育て中の父親などに繰り返し周知しながら、実践につながるよう取り組んでいく必要がある。
- ワーク・ライフ・バランス表彰事業については、地方創生加速化交付金を活用し、岩手県が主宰する「働き方改革アワード」と連携を図り一体的な取組を行うとともに、企業が取り組む労働環境の改善に資する優良事例について周知を図っている。
- 平成29年度は、各企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進においては、経営者層の理解を深める機会を多くするほか、表彰制度のメリットについて検討する。
- 父親ハンドブック交付事業については、岩手県が作成した「いわてイクメンハンドブック」や、民間事業者が主体的に開発を進めている子育て支援情報ツールなどの既存媒体の活用等により所期の目的の達成を図る。

#### 【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
1-3-1 ワーク・ライフ・バランス推進事業【★】	⇒	⇒	⇒	⇒
1-3-2 ワーク・ライフ・バランス表彰事業		⇒	⇒	⇒
1-3-3 父親ハンドブック交付事業			→ 変更	→

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

⇒ 地方創生の交付金を活用

→市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

## 基本目標 2 若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出

### 【数値目標】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度 <sup>1</sup>
盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	66.3	67.3	65.0	70.0	△
大学卒業生の地元就職率	%	45	45.1	45.0	55.0	△
盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,356	8,397	8,341	8,700	△

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合」(KPI)は、29年3月卒の生徒で65.0%となっており、前年より2.3ポイント減少しているが、主な要因として、実業高校や私立高校で、県外就職を選択する生徒数が増加したことが挙げられる。
- 「大学卒業生の地元就職率」(KPI)は、概ね45%と横這いで推移し、伸び悩みの状況にあることから、目標値の達成に向けて、27年9月から岩手大学が中心となり取組を始めた、大学、県市町村、企業との連携による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)」について、企業、NPO、大学生等が一堂に会する機会を支援するなど、その取組を一層推進する。
- 卸・小売の年間販売額を増加させるため、商業振興ビジョンを新たに策定するほか、新規出店者の空き店舗の利用を促進する「商店街空き店舗活用促進事業」などに取り組む。
- 製造品の出荷額を増加させるため、工業振興ビジョンのアクションプランの見直しを進めるほか、新たな企業集積を図るため、新産業等用地の整備を進めるとともに、圏域内の経済循環と付加価値を創造するため、農産物等生産者と飲食店等のマッチングを行う「まちなかマッチング事業」に取り組み、企業間の連携による経営力の底上げを図る。
- インキュベーション施設の修了者の市内での立地企業が少ないことから、立地・定着できるよう支援体制の充実を図る。

<sup>1</sup> 達成度：目標値に達している⇒◎、順調に推移…○、停滞又は後退…△

- 地元企業への就職を促進するため、市内企業等を対象に自社の魅力を PR するツール等の製作支援や、採用力向上に資する企業向け研修会などを行う「U I J ターン就職支援事業」、高校生及び関係者を対象に地元企業の情報提供などを行う「高校生等地元定着支援事業」に取り組む。
- 高校生を対象に実施しているインターンシップについては、より高い成果を得るために、盛岡広域圏内の市町や企業と連携し、参加企業の増加を図る。

【県内学卒者の県内就職率】（参考）

	H26	H27		H28		H29	H30	H31
	現状値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
岩手大学	36.9%	39.4%	38.0%	42.0%	39.9%	44.4%	47.0%	46.9%
岩手県立大学	44.5%	46.4%	45.3%	48.5%	43.5%	50.4%	52.5%	54.4%
(県立大) 盛岡短大	72.6%	74.0%	61.6%	76.7%	62.1%	78.1%	80.8%	82.2%
(県立大) 宮古短大	72.4%	75.0%	62.7%	76.3%	66.2%	78.9%	80.3%	82.9%
盛岡大学	60.6%	62.5%	68.4%	64.2%	59.8%	66.0%	67.9%	69.5%
富士大学	30.4%	32.3%	24.3%	34.2%	30.9%	36.6%	38.5%	40.4%
一関高専	18.8%	19.8%	15.6%	21.9%	12.8%	22.9%	25.0%	26.0%
合計	44.6%	46.6%	45.1%	48.8%	45.0%	50.9%	53.1%	54.4%

出展：いわてふるさと創造協議会（COC+）資料

【岩手県における離職状況（平成 25 年 3 月卒者）】（参考）

		就職者数(人)			①卒業時から平成28年3月までの間における離職状況					
		A	B	C	計		男		女	
		計	男	女	a	(a/A×100)	b	(b/B×100)	c	(c/C×100)
				離職者数 (人)	離職率 (%)	離職者数 (人)	離職率 (%)	離職者数 (人)	離職率 (%)	
大学	岩手	1,601	908	693	614	38.4	324	35.7	290	41.8
	全国	412,636	230,344	182,292	131,763	31.9	64,018	27.8	67,745	37.2
短大等	岩手	1,535	558	977	617	40.2	207	37.1	410	42.0
	全国	133,648	42,831	90,817	55,756	41.7	16,427	38.4	39,329	43.3
高等学校	岩手	2,452	1,357	1,095	1,014	41.4	498	36.7	516	47.1
	全国	170,538	100,255	70,283	69,689	40.9	35,558	35.5	34,131	48.6

(岩手労働局調べ)

岩手労働局の調査によると、岩手県内の平成 25 年 3 月に卒業し、就職した者の 3 年以内の離職率は、高等学校卒で 41.4%、短大等卒で 40.2%、大

学卒で 38.4%となっており、特に大学卒で全国平均より高い傾向がある。

また、「いわてで働こう推進協議会」の調査によると、勤続期間 1 年未満で離職した者は、その理由として「仕事が自分にあわない」とする割合が高い傾向にある。このことから、学生が業種や就職先を決定する前段階において、就業意識を醸成し、幅広い視野を持って自分の進路を選択するきっかけを与える取組みを強化する必要がある。

## 戦略4 経済の好循環の促進

### 【KPI】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
卸・小売の年間販売額※	億円	10,724	—	—	11,300	—
製造品出荷額等	千万円	9,148	—	—	9,605	—
農畜産物加工品販売額〔百万円〕 【追加】	百万円	16	18	22	27	—

※H26年の数値はH24年調査結果（H26年の簡易調査の結果は10,221億円）

### 【現状分析と今後の方向性】

- 卸・小売の年間販売額（KPI）は、商業統計調査の実施が5年ごと（次回調査は平成31年）のため数値はないが、岩手県内経済情勢報告（盛岡財務事務所29年7月）によると個人消費はゆるやかに回復しつつあることから、卸・小売の年間販売額も同様にあるものと考えられる。
- 製造品出荷額（KPI）は、工業統計調査が平成28年実施のため数値はないが、岩手県内経済情勢報告（盛岡財務事務所29年7月）によると、生産活動は持ち直しつつあり、出荷額においても同様にあるものと考えられるが、設備投資は減少の見通しがあることから、企業誘致や既存事業所の経営力強化、起業の支援などの取組が必要である。
- 今後は、卸・小売の年間販売額を増加させるため、商業振興ビジョンを新たに策定するほか、新規出店者の空き店舗の利用を促進する「商店街空き店舗活用促進事業」などに取り組む。なお、「個店魅力アップ支援事業」については、民間主体で実施されているもりおかまちなかゼミナールなどの事業が自立的に運用される見込みとなったことから事業は実施しないものとする。
- 製造品の出荷額を増加させるため、工業振興ビジョンのアクションプランの見直しを進めるほか、新たな企業集積を図るため、新産業等用地の整備などを進めるとともに、圏域内の経済循環と付加価値を創造するため、地方創生推進交付金を活用した農産物等生産者と飲食店等のマッチングを行う「まちなかマッチング事業」に取り組み、企業間の連携による経営力の底上げを図る。
- 食と農の連携をベースとした「所得の向上と夢のある農業」の実現に向けた戦略を策定の上、1次産業と2次産業、3次産業の連携を強化し、魅力

ある盛岡産農畜産物のブランド力向上と販路拡大，6次産業化の支援，盛岡の食の魅力発信等を推進するとともに，産直施設の支援強化に取り組む。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
2-4-1 工場新設拡充等事業	→	→	→	→
2-4-2 盛岡広域企業誘致推進事業【☆】	→	→	→	→
2-4-3 盛岡市新産業創造推進事業【★】	⇒	⇒ 変更	⇒	⇒
2-4-4 地域経済好循環推進事業【★】	⇒			
2-4-5 まちなかマッチング事業【★】	⇒	⇒	⇒	⇒
2-4-6 商店街空き店舗活用促進事業	→	→	→	→
2-4-7 盛岡広域資源新市場開拓事業【★】	⇒			
2-4-8 国際リニアコライダー <sup>※3</sup> 誘致推進事業	→	→	→	→
2-4-9 新規就農・経営継承総合支援事業	→	→	→	→
2-4-10 市産材利用拡大推進事業	→	→	→	→
2-4-11 個店魅力アップ支援事業				
【追加】ものづくり産業魅力向上事業		→	→	→
【新規】食と農のバリューアップ推進事業			→	→
【新規】新産業等用地整備事業			→	→

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

※3 国際リニアコライダー（ILC）・・・全長30kmを超える直線の地下トンネルの中に設置される直線形衝突型加速器で、トンネルの中央で電子と陽電子を衝突させる実験装置のこと。ILCの建設地として、「北上高地」が候補地の一つとして挙げられており、建設が実現すれば、国際的な都市機能の充実、施設建設に伴う関連産業の定着、研究成果を活用した産業の創設など、地域経済への多大な波及効果が期待できる。

⇒ 地方創生の交付金を活用

→市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

## 戦略5 地域経済を担う人材・企業の育成

### 【KPI】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
市インキュベーション施設 <sup>※4</sup> の稼働率	%	75.9	77.2	77.7	75.9	◎

(参考) 市インキュベーション施設は、市産業支援センター、市産学官連携研究センター、市新事業創出支援センター。

### 【現状分析と今後の方向性】

- 市インキュベーション施設の稼働率（KPI）は、施設によって増減があるものの、全体としては、概ね現状維持されており、インキュベーション施設入居企業間での連携が行われるなどの成果が表れている。一方で、インキュベーション施設の卒業後の市内での立地企業が少ないことから、立地・定着できるよう支援を充実させる必要がある。
- 人材・企業の育成のため、「起業家塾@もりおか」を開催するなど「創業支援事業」を実施しているが、今後は、「起業家塾@もりおか」の受講生の中から起業を志す人を市産業支援センターに入居してもらうための取組を進めていく。
- 地方創生推進交付金を活用した「クリエイティブプロジェクト育成事業補助金」の実施により、デザインや工芸など他分野の連携を推進することで、新たな価値創造など、新事業の創出を図る。

### 【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
2-5-1 創業支援事業【☆】	→	→	→	→
2-5-2 盛岡市クリエイティブ育成事業補助金		⇒	⇒	⇒
2-5-3 盛岡市産学共同研究事業補助金【☆】	→	→	→	→
2-5-4 市インキュベーション施設の管理運営事業【☆】	→	→	→	→
2-5-5 女性の起業・就労支援事業	→	→	→	→
2-5-6 伝統産業振興事業	→	→	→	→
2-5-7 企業成長応援事業				→

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

⇒ 地方創生の交付金を活用

→市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

※4 インキュベーション施設……新規事業の起業支援や、起業家やベンチャー等を自立の目途がつくまで支援する施設のこと。インキュベーションとは孵化(ふか)という本来の意味から転じた経済用語。

## 戦略6 地元企業への就職の促進

### 【KPI】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
ジョブカフェいわての利用者数	人	30,080	32,310	31,938	31,000	◎

### 【現状分析と今後の方向性】

- 「ジョブカフェいわての利用者数」(KPI)は、目標値を上回る32,000人程度で推移しており、就職に向けたカウンセリング等が効果的に行われていると考えられる。
- 地元企業への就職を促進するため、地方創生推進交付金を活用して、市内企業等を対象に自社の魅力をPRするツール等の製作支援や、採用力向上に資する企業向け研修会などを行う「UIJターン就職支援事業」、高校生及び関係者を対象にする地元企業の情報提供など「高校生等地元定着支援事業」に取り組む。
- 高校生を対象に実施しているインターンシップについては、より高い成果を得るために、盛岡広域圏内の市町や企業と連携し、参加企業の増加を図る。
- 大学卒業生の地元就職率の向上を目指して、岩手大学が中心となり取り組んでいる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)」について、企業、NPO、大学生等が一堂に会する機会を支援するなど、その取組を一層推進する。

### 【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
2-6-1 UIJターン就職支援事業【★】	⇒	⇒ 変更	⇒	⇒
2-6-2 高校生等地元定着支援事業【★】【☆】	⇒	⇒	⇒	⇒
2-6-3 若年者雇用対策事業	→	→	→	→
2-6-4 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業への参画	→	→	→	→

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

⇒ 地方創生の交付金を活用 →市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

### 基本目標3 東北の中核都市としての魅力・求心力の向上

#### 【数値目標】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度 <sup>1</sup>
20歳から39歳までの人口移動数	人	△107	△315	△521	0	△
うち転入	人	6,439	6,464	6,099		
うち転出	人	6,546	6,779	6,620		
観光客入込数	万人回	497	509	500	500	◎

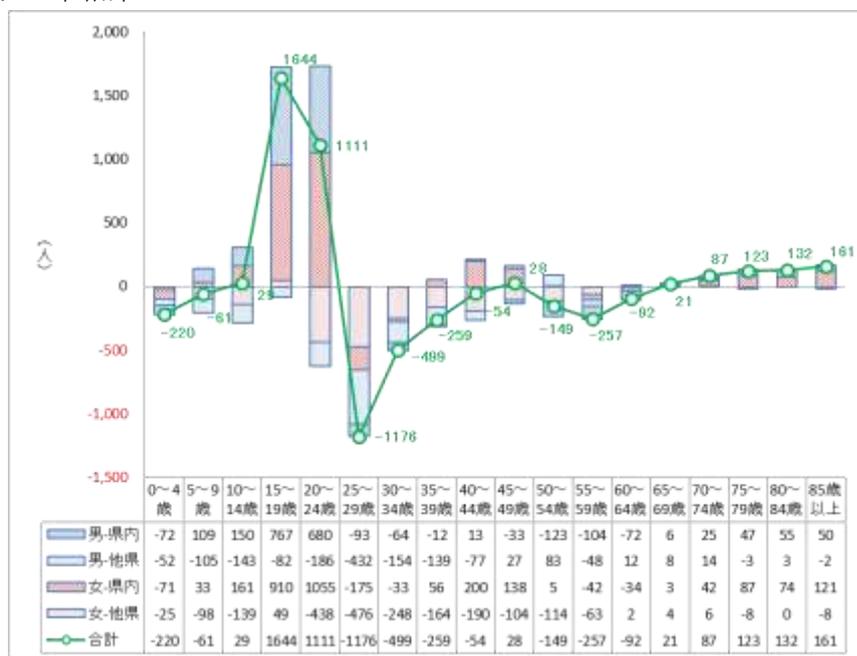
#### 【現状分析と今後の方向性】

- 「20歳から39歳までの人口移動数」は28年△521人となっており、若者世代の首都圏や宮城県への転出超過が増加しているものと考えられる。
- 「観光客入込数」は、27年、28年は概ね目標値の500万人回で推移しているが、観光客入込数は、イベント実施や景気状況、災害など、さまざまな要因から変動するものと考えられる。
- 28年度のU I Jターン相談件数（K P I）は、昨年度と同様8件と少ない状況にある。
- 日本各地で誘客のための戦略的な取組を行っており、本市においてもターゲットを明確にし、盛岡ならではの効果的な誘客策を図り、更なる魅力・求心力の向上を目指す。
- 総合交流ターミナル（ユートランド姫神）機能の拡充により、若者をターゲットとした都市との交流の拠点化や地場産品による6次産業化など地域経済循環促進の拠点化を推進する。
- 29年度は、首都圏に転出した方等を対象とした調査を実施しながら、社会貢献やワーキングホリデー等によるお試し居住や2地域間居住に係る支援のほか、首都圏等における盛岡に関することをキーワードに活動する団体の支援など、交流人口対策に重点をおいた取組を通して移住や定住の推進を図るための事業を展開について検討する。
- 高校生などの若者が地域との関わる機会を得ることで、愛郷心を育むことができる環境を整備する。
- 地域おこし協力隊員が意欲を持って活動できる環境を整えるとともに、隊員の能力を生かすための戦略・計画を検討する。

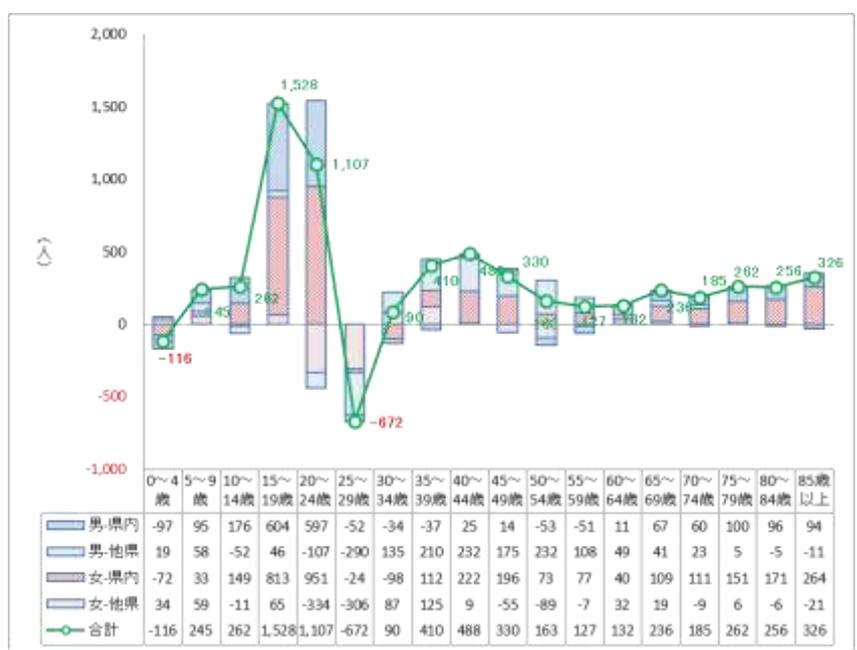
<sup>1</sup> 達成度：目標値に達している⇒◎，順調に推移…○，停滞又は後退…△

【盛岡市の年齢別地域別社会移動の状況（国勢調査結果）】（参考）

＜平成 22 年結果＞



＜平成 27 年結果＞



国勢調査で年齢別地域別社会移動の状況をみると、平成 22 年結果では 25 歳～39 歳の各階級で社会減であったものが、平成 27 年結果では 25 歳～29 歳で減少幅が小さくなっているほか、30 歳～39 歳の各階級で社会増に転じており、東日本大震災による県内沿岸部等からの内陸避難者や、復旧・復興関連の事業従事者による増加が要因の一つと推測される。

## 戦略7 盛岡ファン・交流人口の増加

### 【K P I】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
宿泊観光客数	万人回	98	97	98	110	△
外国人観光客入込数	万人回	1	1.4	2.4	2	◎

### 【現状分析と今後の方向性】

- 宿泊観光客数（K P I）は、28年は98万人回と横這いとなっている。一方で、外国人観光客入込数（K P I）は、広域連携による台湾やタイなどへのプロモーション活動の効果もあり、2.4万人回と大幅に増加しているが、訪日外国人観光客の増に対し、東北における訪日客は未だ少ないため、本市においても、W i - F i <sup>※5</sup>整備（通信環境）や免税店の促進、ホームページの改良など外国人の受入環境の整備などが急務である。
- 宿泊観光客数を増加させるため、27年度から「M I C E誘致推進事業」に取り組むとともに、「教育旅行誘致推進事業」や「祭り・イベント振興事業」「広域観光推進事業」更なる魅力の向上に取り組んでいる。今後も目標達成に向けて、「教育旅行誘致推進事業」においては、海外からの誘致への積極的な取組、「M I C E <sup>※6</sup>誘致推進事業」においては、県外での誘致イベントへの参加や県内大学等関係者に対し、広く周知をするなどの取組のほか、地方創生推進交付金を活用した「大型観光キャンペーン事業」や地方創生拠点整備交付金を活用した「総合交流ターミナル機能拡充事業などを進める。
- 盛岡広域スポーツコミッションを平成29年3月に設立し、広域8市町が連携し国体のレガシーを未来へ継承するための取組に着手した。また、カナダを相手国とするホストタウン事業として、スポーツライミングをはじめとする東京2020オリンピック事前キャンプ誘致交渉等を進めた。
- 今後も、「盛岡ブランド確立事業」や「北上川ゴムボート川下り大会参加促進事業」「盛岡芸妓育成事業」「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への参画」などの事業の継続を進め、地方創生推進交付金を活用した「東北絆まつりへの盛岡さんさ踊りの派遣」や、東京2020オリンピック事前キャンプ誘致をはじめとするホストタウン事業を推進するほかラグビーワールドカップ（RWC）2019 公認チームキャンプの受入れにも取り組み、世界につながる盛岡ならではの魅力発信に努めるとともに、盛岡の特産品を返礼品とする「ふるさと納税制度の普及」、に取り組むこ

とで、盛岡ファン・交流人口の拡大を図る。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30以降
3-7-1 シティプロモーションの推進		→	→	→
3-7-2 盛岡ブランド確立事業	→	→	→	→
3-7-3 スポーツ・ツーリズム※7の推進【☆】	→	→ 変更	→	→
3-7-4 北上川ゴムボート川下り大会参加促進事業【★】	⇒	→ 変更	→	→
3-7-5 盛岡芸妓育成事業【★】	⇒	→	→	→
3-7-6 外国人観光客受入推進事業【★】【☆】	⇒	→	→	→
3-7-7 教育旅行誘致推進事業【★】【☆】	⇒	→ 拡充	→	→
3-7-8 開運橋魅力向上事業【★】	⇒	→	→	→
3-7-9 盛岡デー等観光PR事業	→	→	→ 拡充	→
3-7-10 祭り・イベント振興事業	→	→	→	→
3-7-11 MICE誘致推進事業【★】【☆】	→	→	→ 拡充	→
3-7-12 広域観光推進事業【☆】	→	→	→	→
3-7-13 いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への参画	⇒	→	→	→
3-7-14 ふるさと納税制度の普及	→	→ 拡充	→	→
3-7-15 盛岡ファン・コミュニティの活動支援			⇒	⇒
【追加】大型観光キャンペーン事業			⇒	⇒
【新規】総合交流ターミナル機能拡充事業			⇒	
【新規】サクラパーク姫神を拠点とした桜の名所づくり				⇒ <sup>1</sup>
【新規】(仮称)盛岡の川の賑わい創出事業				→

【★】・・・平成27年度から新規に取り組んでいる事業

【☆】・・・「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

⇒ 地方創生の交付金を活用

→市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

⇒<sup>1</sup> 企業版ふるさと納税を活用

- ※5 Wi-Fi・・・無線ネットワーク規格のこと。外国人観光客の間では、無料の公衆Wi-Fiスポットのニーズが高いとされる。
- ※6 MICE（マイス）・・・企業の会議・研修や報奨旅行，国際会議や学会・大会，展示会・イベントの総称のこと。  
Meeting, Incentive tour, Convention/Conference, Exhibition/Event の略。
- ※7 スポーツ・ツーリズム・・・スポーツを通じた交流人口の拡大のほか賑わいの創出や地域振興に結びつく取組全般。例えば，プロスポーツなどの観戦やスポーツイベントへの参加，スポーツ合宿などを主目的に，開催地周辺の観光を組み合わせた旅行形態など。

## 戦略8 地元への愛着の形成，移住・定住の促進

### 【K P I】

指標	単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
UIJターン相談件数	件	4	8	8	120	△
高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数	人	0	152	550	270	◎

### 【現状分析と今後の方向性】

- 28年度のUIJターン相談件数（K P I）は，昨年度と同様8件と少ない状況にあり，移住や定住を希望者のニーズに対応できていないこと，また，そのきっかけとなる機会を提供することができていないことが考えられることから，希望者のニーズ把握や，ニーズの掘り起こしを進める必要がある。
- 29年度は，首都圏に転出した方等を対象とした調査を実施しながら，社会貢献やワーキングホリデー等によるお試し居住や2地域間居住に係る支援のほか，首都圏等における盛岡に関することをキーワードに活動する団体の支援など，交流人口対策に重点をおいた取組を通して移住や定住の推進を図るための事業を展開について検討する。
- 高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数（K P I）は，市民向けの地域における福祉活動の中核的な担い手の育成を図るため，地方創生加速化交付金を活用して，まちづくりの視点を重視した連続講座や共生社会づくりフォーラムを実施するなど，目標値を大幅に上回る550人となっている。
- 28年度は，高校生を対象とした地域福祉課題解決プログラムについては，地方創生加速化交付金を活用して，他県で実施されているプログラムに高校生を派遣するなど，調査研究を行なった。
- 29年度は，地方創生推進交付金を活用して，盛岡第一高等学校の総合学習として取り組まれているスーパーグローバルハイスクール事業（文部科学省指定）<sup>※8</sup>と連携しながらプログラムの内容について検討を行なうほか，福祉分野以外の受入れ可能な企業，団体等の掘り起こしを進める。
- 28年度は，地域における福祉活動の継続性を高めるため，地方創生加速

化交付金を活用して、ボランティア活動の有償化の可能性や、事業の財源確保策について調査研究を行なった。

- 29 年度から地域おこし協力隊員を任用し、市が抱える地域課題の解決に向けて取組を始めたところである。平成 30 年度も新たに隊員を任用することとしているが、任用に当たっては、隊員が意欲を持って活動できる環境を整えるとともに、隊員の能力を生かすための戦略・計画を予め検討しておく必要がある。

【取組事業】

事業	現状と今後の取組			
	H27	H28	H29	H30 以降
3-8-1 地域福祉中核人材育成事業【★】	⇒	⇒ 変更	⇒ 変更	→
3-8-2 盛岡広域UIターン促進事業				→
3-8-3 社会貢献型お試し居住事業				→
3-8-4 2地域居住等促進事業				→
3-8-5 定住化対策空き家利用促進事業			→	→
3-8-6 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業への参画(再掲)	→	→	→	→
3-8-7 「地域おこし協力隊 <sup>※9</sup> 」制度の活用		→	→ 変更	→
3-8-8 高校生を中心とした地域福祉課題解決プログラム			⇒	⇒
3-8-9 地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進事業			⇒	⇒

【★】・・・平成 27 年度から新規に取り組んでいる事業

- ※8 スーパーグローバルハイスクール事業・・・文部科学省が実施しているもので、高等学校等において、グローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、もって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る事業。
- ※9 地域おこし協力隊・・・都市地域から過疎地域等の条件不利地域に生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。

⇒ 地方創生の交付金を活用      →市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

【数値目標およびKPI一覧（再掲）】

基本 目標	指標名		単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
切れ目のない結婚・出産・子育て支援	数値 目標	出生数(各年1月1日現在)	人	2,476	2,401	2,379	2,476	△
		婚姻件数(各年1月1日現在)	件	1,527	1,588	1,506	1,527	○
	KPI (戦略1)	いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数(県内実績)	組	—	0	10	50	○
	KPI (戦略2)	保育所待機児童数 (H26はH27年度当初 数値, H27はH28年度 当初数値, H28はH29 年度当初数値)	人	9	0	0	0	◎
		市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	15.5	13.3	15.2	40.0	△
		市民アンケートで「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	19.3	22.0	24.0	14.5	△
		子育て支援サービス利用者数	人	69,276	76,691	80,233	74,000	◎
KPI (戦略3)	ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	—	35	78	120	○	
若者・女性がやりがいと魅力を感じられることの創出	数値 目標	盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	66.3	67.3	65.0	70.0	△
		大学卒業生の地元就職率	%	45	45.1	45.0	55	△
		盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,356	8,397	8,341	8,700	△
	KPI(戦 略4)	卸・小売の年間販売額	億円	10,724	—	—	11,300	
		製造品出荷額等	千万円	9,148	H29.12公 表予定	H30.3 公表予定	9,605	
		農畜産物加工品販売額[百万円]【追加】	百万円	16	18	22	27	
	KPI(戦 略5)	市インキュベーション施設の稼働率	%	75.9	77.2	77.7	75.9	◎
KPI(戦 略6)	ジョブカフェいわての利用者数	人	30,080	32,310	31,938	31,000	◎	

基本 目標	指標名		単位	H26	H27	H28	H31 目標値	達成度
東北の中核都市としての魅力・求心力の向上	数値目標	20歳から39歳までの人口移動数	人	△ 107	△315	△521	0	△
		うち転入	人	6,439	6,464	6,099		
		うち転出	人	6,546	6,779	6,620		
		観光客入込数	万人回	497	509	500	500	◎
	KPI(戦略7)	宿泊観光客数	万人回	98	97	98	110	△
		外国人観光客入込数	万人回	1	1.4	2.4	2	◎
	KPI(戦略8)	UIJターン相談件数	件	4	8	8	120	△
		高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数	人	0	152	550	270	◎

数値目標：行政活動により住民にもたらされた便益に関する数値目標

KPI：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標 「-」は当該年度の数値なし

達成度：目標値に達している⇒◎，順調に推移…○，停滞又は後退…△

【地方創生関連交付金等を活用した事業（再掲）】

1 地方創生加速化交付金

事業の名称	実施内容（H28）	実績（H28）	備考
30万市民子育て応援プロジェクト	<p>①公民連携による遊休物件を活用した子ども・子育て世代応援拠点整備費 21,160千円 中心市街地の遊休物件を活用し、一時預かり機能等を備えた子育て応援プラザを整備した。</p> <p>②子育て応援プラザ運営経費 7,822千円（運營業務委託費、賃借料等） 子育て応援プラザの運営（準備期間）を子育て支援NPO等に委託した。</p> <p>③地域福祉人材育成 3,163千円 地域における子育て支援・地域福祉活動の中核的な担い手として、専門的な知識や考え方を持つ人材や、広くまちづくりの視点を持つ人材の育成を行った。</p> <p>④ワーク・ライフ・バランス推進 9,430千円 民間企業の経営者・人事担当者などを対象に、ワーク・ライフ・バランスに係る講座等を開催するとともに、民間企業が自主的・主体的にワーク・ライフ・バランスに取り組むことができるように、先進事例の情報共有などを通じたネットワークづくりを支援した。</p> <p>⑤地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進 690千円 子育て応援プラザにおけるリーディング事業。空き家等を活用した共生型の拠点づくりなど、社会資源を有効活用しながら、地域における日常生活の支え合いの可能性を高める取組のほか、ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用した自主財源の確保策などについて、調査研究を行った。</p>	<p>①年度末の開設であったため利用実績なし。</p> <p>②年度末の開設であったため利用実績なし。</p> <p>③連続講座46名 共生社会づくりフォーラム 約500名 高校生向けプログラムへの派遣4名</p> <p>④養成講座受講者43社 フォローアップ講座受講者22名 セミナー220名</p> <p>⑤調査研究を実施</p>	<p>実施期間 H28年度</p> <p>子ども未来基金への寄附金の実績 2,951千円</p>

## 2-1 地方創生推進事業

事業の名称	実施内容 (H28)	実績 (KPI等) (H28)	備考
<p>広域連携による若者の地元定着応援プロジェクト</p>	<p>①まちなかマッチング事業 3,500 千円 本市の飲食関連事業者と、圏域の農畜産物の生産者とのマッチング事業として、商談会・見本市を開催した。前身事業での参加事業者からの意見を踏まえ、新たにセミナーや産地見学会を開催することで、商談会の効果を高め、定期的な開催に向けた下地づくりを行った。</p> <p>②地元企業の魅力発信と若者の地元定着支援 5,499 千円 地元企業を対象に、自社の魅力を PR するツール等製作の伴走的支援を行うとともに、情報発信力の向上に資する企業向け研修会を実施した。また、地元の多様な職業や働き方を伝える冊子やホームページを作成し、既存の UIJ ターン関連の情報サイト等と連携して県外在住者や学生に地元で働くことの魅力を発信した。 高校生を対象とした地元中小企業の職場見学会及び教員や保護者等を対象とした就職活動や地元企業に関する勉強会の開催により、地元定着に向けた意識の高揚を図った。</p> <p>③クリエイティブ産業の育成支援 500 千円 クリエイティブ産業とマッチング事業との連携により新たな価値の創造やニーズの発掘につながる、新規性・独創性のあるプロジェクトを公募し、その経費の一部を助成した。</p>	<p>①商談会参加事業者数 195 社 商談成立件数 16 件</p> <p>②支援事業所数 30 社 参加高校生 61 人 参加企業 10 社 参加保護者・教員 34 人</p> <p>③認定プロジェクト数 2 件</p>	<p>実施期間 H28～30 年度</p>

## 2-2 地方創生推進事業

事業の名称	実施内容 (H29)	実績 (KPI等) (H29)	備考
盛岡市働き方改革等推進事業	<p>①ワーク・ライフ・バランスの推進 8,868 千円 民間企業がワーク・ライフ・バランスに取り組むことができる環境づくりを推進するため、民間企業の人事担当者や社会保険労務士などを対象にワーク・ライフ・バランスに関する講座や、民間企業の経営層を対象としたセミナー等を開催するとともに、岩手県と連携を図りながら、いわて働き方改革推進運動への参加呼びかけなど、働き方改革について広く周知や取り組みする機会を設け、また、取組が進んでいる企業の表彰などを実施することで、働き方改革について機運を高める。</p> <p>②地域福祉人材育成等 3,025 千円 高校生や大学生などの若者を対象とした地域福祉をターゲットとする実践的なプログラムを実施するため、モデル校を指定し、プログラムを企画、運営する。運営に当たっては、平成 27 年度、28 年度に実施してきた地域福祉中核人材育成講座の受講生が実践しているフィールド（町内会、子ども食堂、ユニバーサルデザイン、子育て支援施設、私設図書館併設高齢者デイサービス、働き方改革を実践している企業などを想定）などを活用することで、受け入れる側としての人材育成や、高校生などの若者が関わることで地域の活性化を試みる。</p> <p>③地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進 3,300 千円 平成 27 年度、28 年度に実施した地域福祉中核人材育成講座の受講生や、今後、高校生などが提案、企画する事業などを継続的に実施できるよう、ボランティアコーディネイト機能の強化や、ふるさと納税などの活用など活動に係る自主財源の確保など、子育て支援を含む地域における日常生活の支え合い活動などの地域における福祉活動に継続的に取り組むことが可能となる仕組みづくりの構築に向けて、実践的な調査研究を実施する。</p>	<p>①いわて働き方改革推進運動エントリー企業のうち盛岡市内にある企業数 現状値 44 社</p> <p>②高校生を対象とした地域福祉課題解決プログラム参加者数（ボランティア従事者を含む。） 現状値 0 人</p> <p>③この事業を通して、地域の支え合い活動として新たに実践された事業数 現状値 0 件</p>	実施期間 H29～31 年度

## 2-3 地方創生推進事業

事業の名称	実施内容 (H29)	実績 (KPI等) (H29)	備考
東北6市連携による祭りコンテンツ等を活用した観光連携プロジェクト	<p>東北の祭りコンテンツ, 伝統芸能, 豊かな食材を活かした東北ならではの食の魅力等を活用して, 東北への大きな人の流れと東北周遊を促す仕組みづくりを目指し, 東日本大震災後, 鎮魂, 震災への支援の感謝・復興の発信を目的に6市が持ち回りで開催してきた東北六魂祭の後継イベントとして, 復興と更なるその先の未来へ前進することを目的とし, 東北6市, 6祭り団体, 6商工会議所が連携して「東北絆まつり」を実施し, この新たな祭りコンテンツを活用した, 首都圏や関西を対象とした観光PR事業などを実施し, 東北ブランドの確立を図る。</p> <p>平成29年度は仙台市が主体となり開催し, 盛岡市からは「盛岡さんさ踊り」を派遣している。(盛岡市の事業費 3,000千円)</p>	<p>①東北県庁所在地6市の観光客入込者増加数 現状値 50,000千人</p> <p>東北県庁所在地6市の夏祭りへの来場者増加数 現状値 91千人</p>	<p>実施期間 H29～31年度</p>

### 3 地方創生拠点整備交付金事業

事業の名称	実施内容 (H29)	実績 (KPI等)	備考
総合交流ターミナル機能拡充事業	<p>○対象施設：盛岡市総合交流ターミナル施設（愛称：ユートランド姫神）</p> <p>○施設の目的：都市部等との交流・観光拠点及び地場産品による6次産業化拠点として、交流人口の拡大を目的とする。</p> <p>○実施予定の事業：市産材を活用した当該施設の再整備により、都市部等の若者をターゲットに「非日常空間を提供する施設」として、交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点としての機能を拡充する。また、整備による誘客促進や交流人口の拡大のため、当該施設を拠点とした交流・体験促進事業及び地産外消事業を併せて展開する。</p> <p>○解決される問題点：都市部等の若者の誘客やスポーツ合宿誘致などにより、利用者の拡大と交流・観光拠点としての魅力向上が期待される。また、施設を拠点とした地産外消の取組を推進させることで、生産者の所得向上など地域農業経営が強化される。</p> <p>○地方創生としての目的：地域資源を活用した都市部の若者の交流・観光拠点として、都市部からの人の流れや交流人口を拡大するほか、当該施設の収益増加や地域生産者の所得向上など地域経済の好循環を目的とする。</p> <p>○実施内容</p> <p>&lt;模様替え&gt; 83,495千円</p> <p>【交流ホールの改修】 20,000千円 座敷タイプの交流ホールを市産材を活用し、隣接の郷土食コーナー（レストラン）と一体化した農家カフェ×レストランに改修する。農家風の内装の模様替えや姫神山を眺める眺望カウンター席の整備のほか、スマートフォン利用のための電気設備を整備する。</p> <p>【宿泊棟の改修】 13,800千円 スポーツ合宿や登山客の利用促進のため、既存の洋室4部屋を交流ホール兼簡易宿泊施設に改修し、コインランドリー室を設置する。また、市産材を活用し、既存和室6室を岩手山を眺める山小屋風ゲストハウスを4室と、山小屋風交流スペースに改修するほか、既存和室2室を洋室に模様替えする。</p> <p>【クアハウスの改修】 17,765千円 女性や若者の利用を促進するため、市産材を活用した転倒防止の床部材への</p>	<p>①総合交流ターミナル施設の営業部門に係る経常収支 現状値 3,045千円</p> <p>登山・スポーツ関連の利用に係る宿泊者数 現状値 684人</p>	<p>実施期間 H29年度</p>

	<p>改修，眺望を生かすガラス窓の改修，ミストサウナの設置などの模様替えを行う。</p> <p>【外壁模様替え】 14,500 千円        ゲストハウスに合わせ，市産材を活用し，施設の外壁を山小屋風に模様替えする。</p> <p>【空調設備の改修】 6,519 千円        空調設備の更新及び新設</p> <p>【トイレの改修】 5,000 千円        トイレの洋式化工事</p> <p>【模様替に係る設計費】 5,911 千円</p> <p>&lt;増築&gt; 12,842 千円</p> <p>【産直コーナー増築】 2,000 千円        現在の産直施設が手狭なことから，花卉販売用の温室を増築する。</p> <p>【屋外交流サイトの新設】 9,200 千円        若年層から成年層のスポーツ団体などの需要が高いバーベキューサイト及び炊事棟を市産材を用いて新築し，屋外での交流を推進する。</p> <p>【増築に係る設計費】 1,642 千円</p>		
--	--	--	--

#### 4 地域少子化対策重点推進交付金

事業の名称	実施内容 (H28)	実績 (K P I 等)	備考
ライフデザイン支援事業	<p>将来のライフデザインを描くことができるよう、効果的な情報提供を行うため、若い世代を対象にセミナー等を開催した。</p> <p>①若者向けの講座の開催</p> <p>②親向けの講座の開催</p> <p>③ワークショップの開催</p>	<p>①若者向け講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフプランの必要性を理解した割合 100%</li> <li>・受講者人数達成度 20%</li> </ul> <p>②親向け講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがライフプランを描けるようになった割合 62%</li> </ul> <p>③ワークショップ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフデザインを描けるようになった割合 100%</li> </ul>	実施期間 H28年度
結婚支援人材養成事業	<p>地域において、結婚を取り持つ役割を担う人材を養成した。</p>	<p>①おせっかいさんとして活動する人数 20人</p> <p>②マッチングを行った件数 0件</p> <p>③結婚相談の知識の理解が深まった割合 79.7%</p>	実施期間 H28年度

## 5 結婚新生活支援事業費補助金

事業の名称	実施内容 (H28)	実績 (KPI等)	備考
結婚新生活支援事業	<p>経済的理由により、結婚に踏み出せない低所得者を対象に、住居費や引越費用など、婚姻に伴う新生活を経済的に支援した。</p> <p>① 住居費に係る補助 盛岡市結婚新生活支援事業 1,178 千円 平成 28 年 10 月 1 日以降に新規に婚姻した世帯（世帯の所得が 300 万円未満の世帯に限る。）の婚姻に伴う新規の住宅取得又は賃貸に係る経費（平成 28 年 4 月 1 日以降に係る経費）に対する支援を行った。</p> <p>② 引越費用に係る補助 盛岡市結婚新生活支援事業 100 千円 平成 28 年 10 月 1 日以降に新規に婚姻した世帯（世帯の所得が 300 万円未満の世帯に限る。）の婚姻に伴う引越しに係る経費（平成 28 年 4 月 1 日以降に係る経費）に対する支援（引越し業者又は運送業者への支払いその他の引越しに係る実費に対し支給するものに限る。）に対する支援を行った。</p>	<p>①補助件数 7 件</p> <p>②補助件数 1 件</p>	実施期間 H28 年度